

当院で血栓回収術を受けた患者さんへ

地方独立行政法人大牟田市立病院では、受診時に患者さんから取得された診療情報等を使用して下記の研究を行っています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ先までご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本件研究の対象者に該当されると思われる方またはその代理人の方で診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、問い合わせ先までご連絡ください。なお、その申し出は研究成果公表前までとなりますのでご了承願います。

研究課題名	救急搬送された脳梗塞患者の機械的血栓回収療法における door-to-puncture time 短縮への取り組み
研究責任者	地方独立行政法人大牟田市立病院 救急外来看護師 責任者名： 野上 由佳 田代 桃奈 藤岡 万里菜 村上 潤一郎
研究の目的と意義	超急性期の脳梗塞の患者さんに対して、rt-PA 静注療法や血栓回収療法に適応がある場合、可能な限りすみやかに治療を開始することが求められています。また、血栓回収療法は、発症から24時間以内であれば治療適応となりますが、血栓回収術においては6時間以内の症例はよりよい適応と考えられています。そこで、当院救急外来では、看護師として患者さんの搬入から血栓回収術による動脈穿刺までの時間（door-to-puncture time）短縮としてできることを検討し、血栓回収セットの作成、勉強会やシュミレーションを実施しました。 本研究では、これらの取り組みの実施前後のデータを分析し、患者搬入から穿刺までの時間短縮への取り組みの効果を検証します。
調査データ 該当期間	2015年1月～2023年12月 この間に当院に救急搬入された血栓回収術適応患者の搬入時間から穿刺時間のデータを収集します。
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる方 救急搬入された血栓回収術適応の方 (院内発症は含まない) ●研究の実施期間 病院長の研究実施許可日から2024年9月まで ●研究方法 ①取り組み前：2015年1月～2019年9月 ②取り組み後：血栓回収セット作成（2019年10月）～2023年12月 ①②のデータから取り組みの効果を検証します。 ●利用する情報 電子カルテ上の救急搬入時間～穿刺開始までの時間を利用します
情報の保護	調査により得られた情報は自施設外に持ち出さないよう厳重に管理する。 調査により得られた情報から個人が特定されないようにする。 本研究が公表される場合にも、研究対象者個人を特定できる情報を含まないこととする。

外部への情報提供	外部への情報提供は行いません
利益相反	本研究の実施にあたり特定企業との利害関係はありません
試料・情報の提供の の辞退に関するお申 し出先・お問い合わせ 先	地方独立行政法人大牟田市立病院 責任者名： 救急外来看護師 野上 由佳 田代 桃奈 藤岡 万里菜 村上 潤一郎 外来 電話：0944-53-1061（平日 8 時 30 分～17 時 15 分）
備考・その他	